

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月10日更新

事務事業名	災害復旧事業(補助)					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施策	15	防災対策の推進			所属課	建設課	担当者名	甲斐 拓弥
	施策の柱	50	災害復旧対策			所属班	工務班	(内線)	5258
予算科目	会計一般	款 11	項 2	目 1	事業連番 11710	根拠法令	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 5年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	自然災害(暴風、洪水、地震等)により被災した公共土木施設(河川、道路など)を地域の復旧・復興のため、迅速かつ確実に復旧を行う事業である。
【業務の流れ】	自然災害の発生→被害把握・応急対応→測量・設計→災害復旧事業申請→災害査定受驗→工事発注→工事着手→工事竣工→災害復旧補助金申請→補助金交付決定→事業実績報告
【主な予算費目】	委託費、工事請負費
【意見や要望】	被災箇所周辺の地権者や利用者より早期の復旧対応を求められている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
豪雨災害により被災した公共土木施設の復旧を行った。 ●委託料:2路線、1件 ●工事費:2路線、2件		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位):	予算の主な増減の理由
→ア:被災箇所数	箇所	災害復旧完了による減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
道路や河川等の公共土木施設	→ア:災害復旧箇所数	箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
被災した公共土木施設の機能回復	→ア:災害復旧率	%
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~年度
災害復旧事業であるため災害復旧率を成果指標とし、被災箇所の全てを復旧予定としていることから目標値を100%で設定した		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	箇所			2	2				
	イ									
②対象指標	ア	箇所			2	2				
	イ									
③成果指標	ア	%			100	100				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			3,697				
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円				1,800			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源		千円				3,696			
	(A)事業費計		千円			0	9,193			
	(A)のうち指定経費		千円			0	0			
	(A)のうち時間外、特勤		千円			0	0			
	正規職員従事人数		人			0	4			
延べ業務時間		時間			0	516				
(B)人件費計		千円			0	1,879				
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	11,072				

事務事業名	災害復旧事業（補助）	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部（CHECK）

\*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 R5年度において災害復旧が完了するため次年度計画はない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完了しないと発揮できないが、R5年度完了を目標に事業を進めていく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市道の災害復旧においては、庁舎内においても建設課のみ実施しており類似事例はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 災害査定総合単価、土木工事標準積算基準書等に基づき設計価格を算定しているため、これ以上のコスト削減は見込めない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人件費として算定した。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域住民のほか一般の方も利用する公共土木施設であり妥当である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 今回被災した公共土木施設は本市が管理する施設（市道）であり、災害復旧を行うことは市の責務であり妥当である。

## 3 評価結果の総括（CHECK）

自然災害（暴風、こう水、地震等）により被災した公共土木施設（河川、道路など）を地域の復旧・復興のため、迅速かつ確実に復旧を行う事業であるため妥当である。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						